

南郷里小学校からの報告

水生生物調査結果

調査場所名 (No.)		南田附町 No.1				南田附町 No.2				南田附町 No.3					
月	日	時	刻	5月15日 15時00分				5月22日 15時00分				6月26日 15時00分			
天気		晴れ				曇り				晴れ					
水温 (°C)		22.0 °C				21.0 °C				24.0 °C					
気温 (°C)		20.0 °C				23.0 °C				26.0 °C					
川幅 (m)		1.5 m				1.5 m				1.5 m					
河川名		十一川支流				十一川支流				十一川支流					
生物を採取した場所		全面				全面				全面					
水深 (cm)		15.0 cm				12.0 cm				18.0 cm					
流速 (cm / s)		30 cm/s				20 cm/s				20 cm/s					
水の様子		指標生物													
きれい	1	カワゲラ類													○
	2	ナガレトビケラ・ヤマトビケラ クロツツビケラ類				○				○					●
	3	ヒラタゲロウ類													
	4	ブユ類													
	5	ヘビトンボ類													
	6	カガンボ類													
	7	サワガニ				○				○					○
I・II 共通	8	ウスムシ類													
	9	2以外のトビケラ類				●				●					
	10	3、14以外のカゲロウ類								○					
II 少しよごれている	11	ヒラ外ロムシ類													
	12	シジミ類													
II・III 共通	13	カワニナ				○				○					○
III よごれている	14	サホコカゲロウ													
	15	ヒル類													
	16	ミスムシ													
	17	モノアラガイ													
III・IV 共通	18	サカマキガイ								○					
IV 大変よごれている	19	赤いユスリカ													
	20	イトミズ類													
	21	ハナアブ類													
水質判定表	水よすの区分		I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	
	1	みつかった指標生物の種類の数 (○+●)	3	1	0	0	4	3	2	0	2	0	1	0	
	2	みつかった指標生物のうち一番数の多くあった種類(●)	1	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	
	合計 (1欄+2欄)		4	1	0	0	5	4	2	0	3	0	1	0	
	判定結果(合計が最も大きい区分)		I				I				I				

調査考察、活動内容等

(1) 調査隊について

本校では水生生物の調査を、クラブ活動の一環として取り組んでいます。今年は、6年生2名、5年生9名、4年生5名、合計16人で、「水生生物・科学クラブ」として活動しています。

まず、川へ調査に行く前に、調査方法について学習をしました。水質の調査方法として、見た目のきれいさ(視覚)、川に入ったときの感じ(触覚)、水のおいしさ(嗅覚)、川の音(聴覚)に気をつけることを指導しました。また、道具に関しても、網の使い方やザルの使い方についても学習をしました。

(2) 調査の様子と調査結果について

5月15日(月) 晴れ

気温は20度、水温は22度、水深は15cm、流れの速さは、0.3cm/s です。

指標生物は、多い順にナガレトビケラ・クロツツトビケラ類、それ以外のトビケラ類、サワガニなど、この調査地点では、きれいな水にすむ生物が多く見られました。その中でも、今年はいろいろなトビケラが多く見られました。指標生物以外にも、ヤゴ、スジエビ、ドンコなどの生き物がたくさんとれました。

児童の感想より



- ・ヤゴがいた。色が茶色で小さかった。まだ、赤ちゃんみたいだった。
- ・今日一番多く捕まえたのは、スジエビでした。
- ・川には、よく見ると小さい奇妙な水生生物がいっぱいいました。
- ・自分たちの住んでいる川には、たくさんの魚がいました。
- ・藻をアミでとると、その中にはたくさんの小さい生き物がありました。とくにおどろいたのは、エビがいたことです。つぎも、エビをつかまえてみたいです。
- ・他のグループは、たくさんの生き物をつかまえていたので、次はぼくたちのグループもたくさんの魚をつかまえてみたいです。

5月22日(月) 曇

気温は23度、水温は21度、水深は12cm、流れの速さは、0.2cm/s です。

川に入ると冷たく感じました。水は透明で、所々に水草が生えています。川の上から見るとアメンボや小さな魚が見られました。この場所での指標生物は、サワガニ、カワニナ、カゲロウでした。指標生物以外では、タニシ、ハグロトンボのヤゴ、ドジョウ、ドンコ、アメリカザリガニ、アメンボ、アマガエルなどの生物がとれました。1回目の調査とは違って、アメリカザリガニやドジョウなど、1回目には見つからなかった生き物が同じ場所で見られるようになりました。

児童の感想より

- ・とてもいっぱい生き物と出会いました。
- ・ザリガニとエビを捕まえました。いきなりザリガニがはねたからびっくりしました。
- ・今日行った場所は、魚がたくさんいました。
- ・水草の中にドンコがいました。ドンコの色は茶色で小さかったです。
- ・エビは、はねてケースの外に出てしまいました。
- ・ケースの中を小さい魚が泳ぎまわっていました。



6月26日（月）晴れ

気温は26度、水温は24度、水深は18cm、流れの速さは、0.2cm/s です。

指標生物は多い順に、ナガレトビケラ・クロツツトビケラ類、それ以外のトビケラ類、カワニナなどでした。指標生物以外では、アブラハヤ、アブラボテ、カワモツなどの生物がとれました。今回の調査では、1回目と2回目に比べ、たくさんの魚が見られるようになりました。



- ・ザリガニなどの生き物が少しずつ大きくなっている気がしました。
- ・自分たちの住む近くの川にたくさんのサワガニやスジエビがいることにおどろきました。
- ・今日は大漁でした。
- ・川に少しごみが捨ててあり、川にすむ生き物がかわいそうだと思います。
- ・たくさんの生き物を見つけることができうれしかったです。



(3) 活動を終えて

本校では、水生生物の活動をクラブ活動として行っています。また、「水生生物・科学クラブ」としての位置づけであり、水生生物調査とともに、科学実験を行っています。水生生物だけの活動では、人数が集まらないためです。その原因としては、川や水生生物に興味を持つ児童が少なくなっている現状があります。



初めて活動をするとき子どもたちは、川の中に入らず、上から網を伸ばして、魚や小さな水生生物を捕ろうとしていました。徐々に他の児童が川の中に入って生き物を捕り始めると、川に入ることをためらっていた児童も、いつの間にか川の中で夢中になって魚を追いかけていました。

調査を続けていく中で、今までに見たことのない魚や水草を知ることにより、一生懸命に取り組む児童が増えていきました。また、児童の感想に、「もっと調べてみたい」、「他の川にも行ってみたい」という意欲が見られました。

川の中に入って遊んだ経験に多い少ないはあるが、どちらの児童も自分たちが住んでいる家の近くの川に、多くの生物が暮らしていることを改めて知り驚いていました。川の中の生態を知るよい機会となりました。



夏に近づくにつれて、同じ生物でも徐々に大きくなっていることを観察や経験を通して知ることができました。また、多くの種類の生物を見つけるようになってきました。それは、回数を重ねるごとに、子どもたちの調査をする技術が向上したからだと考えています。

今後、自分たちの住んでいる地域の川や水環境に興味を持ち、水生生物を大切にしてくれることを期待したいと思います。